

平成 25 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	ぬくもり修学奨励資金支給事業					
所管課	606	教育総務課	(教育委員会事務局)		宇陀市一般会計予算			
事業の目的	修学困難な生徒に対し修学奨励を図るため、高等学校、大学等の入学支度金として支給する。				区分	No.	区分名	
					款	9	教育費	
					項	1	教育総務費	
					目	2	事務局費	
					細目	1	本庁事務局費	
根拠条例等	宇陀市ぬくもり修学奨励資金支給要綱							
総合計画	基本計画 第4章 第3節 教育環境の整備・充実							
H25年度事業の概要	市内に住所を有する者で、市民税非課税世帯であるもの。 入学支度金の支給(負担金、補助及び交付金) 高等学校又は専修学校 60,000円×19人 大学又は専門学校 120,000円×3人				財源の内訳 (単位:千円)			
					分担金			
事業の成果	修学困難な生徒に対し修学奨励をおこなうことにより、市の教育環境づくりが図られる。				使用料			
					国費			
					県費			
					市債			
					その他			
					一般財源	1,500		
					H25予算額	A 1,500		
					H24当初予算額	B 1,500		
H24現計予算額	2,040							
増減額	A-B							
事業のコスト		平成23年度(実績)	平成24年度(見込)		特定財源の状況			
決算額又は決算見込額(千円)		1,080	2,040					
従事職員数【人工】		0.03	0.03					
人件費(人工×8,000千円)		240	240					
総事業費:人件費含む(千円)		1,320	2,280					
活動指標名		支給学生数						
活動指標の算式		-						
活動指標の実績		15	単位	人		25	単位	人
単位当たりコスト(円)		88,000	91,200					
事業の目標	市の将来のまちづくり活動に取り組み意欲をもってもらい、市の活性化を図る。					備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 4.子ども未来創造プロジェクト (11)子ども達の就園就学の経済的援助	

平成 25 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	学校安全安心メール配信システム運営事業				
所管課	606	教育総務課	(教育委員会事務局)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	保育所・幼稚園・小学校・中学校・学童保育室・子育て支援室の保護者を対象としたメール配信システムを構築し、各種学校等からの連絡や緊急時の安否確認等、双方向の連絡システムの運用を行う。 今後、研修会を重ね緊急時の対応などに正確且つ瞬時に情報伝達が行えるよう行政事務の改善を図る。				区分	No.	区分名
					款	9	教育費
					項	1	教育総務費
					目	2	事務局費
細目	1	本庁事務局費					
根拠条例等							
総合計画	基本計画 第4章 第3節 教育環境の整備・充実						
H25年度事業の概要	細節	科目	予算額	備考			
	賃金	臨時職員賃金	77千円	780円×7時間×14日			
	使用料及び賃借料	機器使用料	523千円	43,575円×12ヶ月			
	合計		600千円				
事業の成果	平成22年度きめ細かな臨時交付金事業により、保育所・幼稚園・小学校・中学校・学童保育室・子育て支援室の保護者を対象としたメール配信システムを構築し、各種学校等からの連絡や緊急時の安否確認等、双方向の連絡システムを運用したことにより、情報伝達が正確且つ瞬時に伝達でき業務の改善につながった。						
	財源の内訳 (単位:千円)						
	分担金						
	使用料						
	国費						
	県費						
	市債						
その他							
一般財源		600					
H25予算額	A	600					
H24当初予算額	B	523					
H24現計予算額		523					
増減額	A-B	77					
事業のコスト	平成23年度(実績)	平成24年度(見込)		特定財源の状況			
決算額又は決算見込額(千円)	508	523					
従事職員数【人工】	0.10	0.10					
人件費(人工×8,000千円)	800	800					
総事業費:人件費含む(千円)	1,308	1,323					
活動指標名	登録者数						
活動指標の算式	-						
活動指標の実績	2,738	単位	人			2,850	単位
単位当たりコスト(円)	478	464					
事業の目標	加入率100%を目指す。						
備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 5.市民安心安全プロジェクト [暮らしの安全] (1)学校安心安全メール配信事業						

平成 25 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	適応指導教室(はばたき)				
所管課	606	教育総務課	(教育委員会事務局)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	宇陀市内小・中学校の不登校児童・生徒の自立を図り、在籍校への復帰を促すとともに、状況に応じた適切な指導や学習の機会を設定し、学習継続への意欲化を図る。				区分	No.	区分名
					款	9	教育費
					項	1	教育総務費
					目	2	事務局費
					細目	5	教育センター事業費
根拠条例等	宇陀市適応指導教室設置要領						
総合計画	基本計画 第4章 第3節 教育環境の整備・充実						
H25年度事業の概要	菟田野地域事務所内の1室にて、教室を運営している。隣の農林会館内に体育館があり、有意義に活動できている。平成24年度は、週2日(水・金、学校長期休業中は休み)開室しており、児童生徒は、水曜日の午後、金曜日1日通室している。指導員は、心理士2名(水曜日1名、金曜日2名)で行っている。相談業務は、主に水曜日の午前と金曜日に行っている。保護者や学校から、週当たり1日半では少ないとの声もあり、平成25年度は、開室日を週2日にし、学校長期休業中は、相談業務を重点的に行う。				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	22年度までは、0名、23年度は、相談回数、通室回数合わせて185回となり予想を大きく上回った。24年度2学期末では、正式通室6名(うち、4名は、現在は学校へ)、のべ相談回数39回、通室回数118回になる。通室が増えたことにより、今後は、通室と相談業務を並行して行う必要がある。特に学校と連携し、関わりがもてない児童生徒に対しても働きかけができるようにしたい。				使用料		
					国費		
					県費		
					市債		
					その他		
					一般財源	1,600	
					H25予算額	A 1,600	
					H24当初予算額	B 879	
H24現計予算額	879						
増減額	A-B 721						
事業のコスト	平成23年度(実績)	平成24年度(見込)	特定財源の状況				
決算額又は決算見込額(千円)	879	879					
従事職員数【人工】	0.40	0.30					
人件費(人工×8,000千円)	3,200	2,400					
総事業費:人件費含む(千円)	4,079	3,279					
活動指標名	相談回数+通室回数						
活動指標の算式	-						
活動指標の実績	185	単位 回				190	単位 回
単位当たりコスト(円)	22,049					17,258	
事業の目標	適応指導教室に来室することで、まずは心理的な居場所を確保し、学習機会を保障することや、学校だけでなく、将来大人になったときへの社会への適応を促すための助力となりたい。					備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 4.子ども未来創造プロジェクト (16)学校教育における児童生徒の学習意欲の増進

平成 25 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	教育相談(心理)				
所管課	606	教育総務課	(教育委員会事務局)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	発達や不登校についての親や教職員の悩みを心理的な立場から相談を行い少しでも解消すること。				区分	No.	区分名
					款	9	教育費
					項	1	教育総務費
					目	2	事務局費
細目	5	教育センター事業費					
根拠条例等	宇陀市教育センター事業実施要綱						
総合計画	基本計画 第4章 第3節 教育環境の整備・充実						
H25年度事業の概要	臨床心理士による教育相談業務。希望に応じて発達検査を行い、結果を保護者へお知らせし、相談を進める。場所は、菟田野地域事務所内2室使用している。1室は主相談室、1室は、検査及び観察室である。部屋同士が内部でつながっており、廊下へ出なくても行き来ができる。親が主相談室で相談を受けていても、子どもが安心して隣の検査室へ移動することができるので都合が良い。また、人目にふれずに相談に行ける所も利用者から評価が高い。				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	平成25年1月までの相談日28日間、相談数99回、うち、45回が検査を行う。保護者や教職員に対してアドバイスを行う。相談継続希望の方が多い。現在は、保護者の相談だけで予約がいっぱいになるので、教職員だけの相談はお断りしているが、要望は多い。ニーズのある教職員に対しての相談をどうすすめるかと、相談に足が向かない保護者に対してどのようにするかが課題である。				使用料		
					国費		
					県費		
					市債		
					その他		
					一般財源	1,418	
					H25予算額	A 1,418	
H24当初予算額	B 1,244						
H24現計予算額	1,244						
増減額	A-B 174						
事業のコスト	平成23年度(実績)	平成24年度(見込)	特定財源の状況				
決算額又は決算見込額(千円)	1,200	1,200					
従事職員数【人工】	0.40	0.40					
人件費(人工×8,000千円)	3,200	3,200					
総事業費:人件費含む(千円)	4,400	4,400					
活動指標名	相談回数						
活動指標の算式	—						
活動指標の実績	142	単位 回				120	単位 回
単位当たりコスト(円)	30,986					36,667	
事業の目標	現在相談に来られる保護者の方から、年度が替わっても、小・中に行っても相談が続けられることが良いとの声を聞いている。今後も継続していきたい。					備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 4.子ども未来創造プロジェクト (16)学校教育における児童生徒の学習意欲の増進

平成 25 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	ようこそ！サイエンスラボ				
所管課	606	教育総務課	(教育委員会事務局)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	児童生徒の科学への興味関心を高め、自然の事物・現象についての理解を図り、科学的な見方や考え方を養うことを通して、宇陀市の学力向上に資することを目的とする。				区分	No.	区分名
					款	9	教育費
					項	1	教育総務費
					目	2	事務局費
					細目	5	教育センター事業費
根拠条例等							
総合計画	基本計画 第4章 第3節 教育環境の整備・充実						
H25年度事業の概要	理科教育の振興のため、県内のスーパー・サイエンス・ハイスクール(SSH・青翔高校)の出前授業と、JAXA宇宙航空研究開発機構の「宇宙教育センター」による、宇宙を教材とし、学校と連携し魅力的な授業をつくる「学校教育支援事業」の活用を行う。				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	市内小中学校の児童・生徒を対象に、県内のSSH(青翔高校)による出前授業を通して、科学に興味・関心を持ち、理科への学習意欲を高めるとともに、JAXAの宇宙をテーマとした学習アプローチにより、学習への深化とグローバルな考え方を育むことができると考える。				使用料		
					国費		
					県費		
					市債		
					その他		
					一般財源	373	
					H25予算額	A 373	
					H24当初予算額	B	
H24現計予算額							
増減額	A-B 373						
事業のコスト		平成23年度(実績)	平成24年度(見込)		特定財源の状況		
決算額又は決算見込額(千円)							
従事職員数【人工】							
人件費(人工×8,000千円)							
総事業費:人件費含む(千円)							
活動指標名							
活動指標の算式							
活動指標の実績			単位	単位			
単位当たりコスト(円)							
事業の目標	科学への興味・関心を高め、科学的な見方や考え方を養い、学力の向上を目指す。				備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 4.子ども未来創造プロジェクト (14)学校教育支援事業(ようこそ！サイエンスラボ)	

平成 25 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	外国語活動指導助手設置事業 (市単独事業)					
所管課	606	教育総務課	(教育委員会事務局)		宇陀市一般会計予算			
事業の目的	平成23年度から実施された「新学習指導要領」に基づき、小学校5～6年生の授業に外国語活動が取り入れられた。授業にネイティブスピーカーを助手として採用することで、外国語の授業が充実するとともに、子どもの頃から外国の文化や習慣の違いなどにふれる機会を創出することができる。外国語活動においては、音声を中心に慣れ親しませる活動を通じて、積極的コミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。				区分	No.	区分名	
					款	9	教育費	
					項	1	教育総務費	
					目	2	事務局費	
細目	7	外国語早期指導費						
根拠条例等								
総合計画	基本計画 第4章第3節 教育環境の整備・充実							
H25年度事業の概要	平成23年度から実施された「新学習指導要領」では、年間35時間の外国語活動が導入された。 市単事業として、昨年度に引き続き、外国語活動をスムーズに導入できる助手を宇陀市独自で設置する。				財源の内訳 (単位:千円)			
					分担金			
事業の成果	平成24年度の取り組みについての各校からの報告 * ネイティブの発音が児童に力をつけている。 * 英語の聞き取りが進む。 * 外国人との交流は、外国語学習の大いなる動機付けになる。 * 英語だけでなく異文化についても具体的に学べる。 ※教師の英語力の向上につながる				使用料			
					国費			
					県費			
					市債			
					その他			
					一般財源	2,255		
					H25予算額	A 2,255		
					H24当初予算額	B 2,199		
H24現計予算額	2,199							
増減額	A-B 56							
事業のコスト		平成23年度(実績)	平成24年度(見込)		特定財源の状況			
決算額又は決算見込額(千円)		1,934	2,199					
従事職員数【人工】		0.10	0.10					
人件費(人工×8,000千円)		800	800					
総事業費:人件費含む(千円)		2,734	2,999					
活動指標名		対象学級数						
活動指標の算式		-						
活動指標の実績		24.0	単位	学級		24.0	単位	学級
単位当たりコスト(円)		113,917		124,958				
事業の目標	異文化に触れ国際感覚豊かな人材育成を目指す。 平成24年度 第5学年…11学級 第6学年…13学級					備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 4.子ども未来創造プロジェクト (17)学校教育における児童生徒の学習意欲の増進	

平成 25 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	菟田野小学校校舎改築事業(学童保育室)				
所管課	606	教育総務課	(教育委員会事務局)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	菟田野小学校に就学しているおおむね10歳未満の児童にあって、その保護者が労働等により昼間家庭にいない者に、政令で定める基準に従い、授業の終了後に小学校等の余裕教室(地域交流センター約100㎡)を利用して適切な遊び及び生活の場を与えて、その健全な育成を図るため、施設改修を行い、平成26年度の開室を目指す。				区分 No.	区分名	
					款	9	教育費
					項	2	小学校費
					目	1	学校管理費
細目	1	本庁小学校管理費					
根拠条例等	児童福祉法第6条の2第2項						
総合計画	基本計画 第2章 第5節 子育て支援が充実したまち						
H25年度事業の概要	菟田野小学校内「地域交流センター」約100㎡を改修 修繕料 2,226千円 学童保育室整備 備品購入費 817千円 学童保育室用備品				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	行政改革実施計画に沿って、児童館事業を学童保育事業に移行し、各小学校敷地内で運営することにより、児童館への移動距離や移動時間が短縮でき、児童の負担の軽減と安全性が向上する。				使用料		
					国費		
					県費	2,028	
					市債		
					その他		
					一般財源	1,015	
					H25予算額	A 3,043	
H24当初予算額	B						
H24現計予算額							
増減額	A-B 3,043						
事業のコスト		平成23年度(実績)	平成24年度(見込)		特定財源の状況		
決算額又は決算見込額(千円)	/						
従事職員数【人工】							
人件費(人工×8,000千円)							
総事業費:人件費含む(千円)							
活動指標名							
活動指標の算式							
活動指標の実績			単位	単位			
単位当たりコスト(円)							
事業の目標	平成26年度当初を目標に、大宇陀地域と菟田野地域で新たに学童保育事業を展開することにより、児童の放課後の安全と健全な育成が図れる。				備考		
					<予算案のポイント> 【重点事業】 6.改革改善プロジェクト (1)施設の統廃合の推進		

平成 25 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	通級指導教室(ほほえみ)					
所管課	606	教育総務課	(教育委員会事務局)		宇陀市一般会計予算			
事業の目的	①通常の学級に在籍している子ども達の中で、ことばやコミュニケーション、社会性に困難を抱えている子どもを育むために特別な支援を行う。 ②ことばやコミュニケーション、社会性に困難を抱えている子どもに、幼児期の早い時期に適切で専門的な指導(保護者や教職員に対しても)を行うことにより、その子の本来持っている力を十分に発揮し、生き生きとして社会生活を送れるように支援する。				区分 No.	区分名		
					款	9	教育費	
					項	2	小学校費	
					目	1	学校管理費	
細目	12	通級指導教室費						
根拠条例等	学校教育法施行規則第140条:宇陀市通級指導教室設置要領							
総合計画	基本計画 第4章 第3節 教育環境の整備・充実							
H25年度事業の概要	通常の学級に在籍しているが、特別な教育的支援を必要としている子どもたちへ、それぞれの子どもの実態に応じて指導を行う。宇陀市立榛原小学校内に教室を置き、自校及び他校の児童生徒が個々に応じて通級する。事業が2年目になり、平成24年度より県費講師1名が配置された。				財源の内訳 (単位:千円)			
					分担金			
事業の成果	平成23年5月から開始した事業であるが、平成24年度2学期末の統計で、相談件数 85件、相談回数499回をかぞえる。また、1月の正式通級者が12名である。(昨年度の同時期は、4名。)これ以外の相談人数は、小学生で19名である。幼児は、19名。保護者や教職員からも、宇陀市で教室ができて本当によかったとの声がある。幼児の相談が特に増加傾向にあり、市療育教室卒業後の相談場所を求めて来られる方も多い。市としての取組みも求められている。また、教育センター研修事業で通級指導教室の先生による研修を、7回実施する。今後も安定的に継続して運営を行い、子どもたちへの教育支援を保障していきたい。				使用料			
					国費			
					県費			
					市債			
					その他			
					一般財源	224		
					H25予算額	A 224		
					H24当初予算額	B 4,423		
H24現計予算額	4,423							
増減額	A-B ▲ 4,199							
事業のコスト		平成23年度(実績)	平成24年度(見込)		特定財源の状況			
決算額又は決算見込額(千円)		4,390	4,423					
従事職員数【人工】		0.30	0.30					
人件費(人工×8,000千円)		2,400	2,400					
総事業費:人件費含む(千円)		6,790	6,823					
活動指標名		相談回数						
活動指標の算式		—						
活動指標の実績		350	単位	回		550	単位	回
単位当たりコスト(円)		19,400				12,405		
事業の目標	県費職員になったことにより、近隣市町村からも通級希望が来られる。今後受入体制を整え、より充実した支援として広めていく。					備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 4.子ども未来創造プロジェクト (16)学校教育における児童生徒の学習意欲の増進	

平成 25 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	就学援助事業(小学校)																																																										
所管課	606	教育総務課	(教育委員会事務局)		宇陀市一般会計予算																																																								
事業の目的	経済的な理由によって就学困難と認められる児童の保護者に必要な援助を行うことにより、義務教育の円滑な実施に資することを目的とする。				区分	No.	区分名																																																						
					款	9	教育費																																																						
					項	2	小学校費																																																						
					目	2	教育振興費																																																						
細目	1	本庁小学校教育振興費																																																											
根拠条例等	宇陀市就学援助に関する要綱																																																												
総合計画	基本計画 第4章 第3節 教育環境の整備・充実																																																												
H25年度事業の概要	■特別支援就学奨励費				財源の内訳 (単位:千円)																																																								
	項目	単価	人数	予算額	分担金																																																								
	給食費(1~6年)	22,000	34	748,000	使用料																																																								
	修学旅行(6年)	10,300	4	41,200	国費	428																																																							
	学用品(1年)	5,550	9	49,950	県費																																																								
	学用品・通学用品(2~6年)	6,635	30	199,050	市債																																																								
	新入学用品(1年)	9,950	9	89,550	その他																																																								
	校外学習(宿有り)	1,735	6	10,410	一般財源	8,074																																																							
校外学習(宿なし)	755	34	25,670	H25予算額 A	8,502																																																								
計			1,163,830	H24当初予算額 B	9,087																																																								
事業の成果	経済的理由によって、就学困難な児童の解消 ■要保護及び準要保護児童就学援助費 要保護 <table border="1"> <tr><th>項目</th><th>単価</th><th>人数</th><th>予算額</th></tr> <tr><td>修学旅行(6年)</td><td>20,600</td><td>3</td><td>61,800</td></tr> <tr><td>医療費</td><td>12,000</td><td>1</td><td>12,000</td></tr> </table> 準要保護 <table border="1"> <tr><th>項目</th><th>単価</th><th>人数</th><th>予算額</th></tr> <tr><td>給食費(1~6年)</td><td>44,000</td><td>108</td><td>4,752,000</td></tr> <tr><td>修学旅行(6年)</td><td>20,600</td><td>23</td><td>473,800</td></tr> <tr><td>学用品(1年)</td><td>11,100</td><td>16</td><td>177,600</td></tr> <tr><td>学用品・通学用品(2~6年)</td><td>13,270</td><td>92</td><td>1,220,840</td></tr> <tr><td>新入学用品(1年)</td><td>19,900</td><td>16</td><td>318,400</td></tr> <tr><td>校外学習(宿有り)</td><td>3,470</td><td>42</td><td>145,740</td></tr> <tr><td>校外学習(宿なし)</td><td>1,510</td><td>108</td><td>163,080</td></tr> <tr><td>医療費</td><td>12,000</td><td>1</td><td>12,000</td></tr> <tr><td>計</td><td></td><td></td><td>7,337,260</td></tr> </table>				項目	単価	人数	予算額	修学旅行(6年)	20,600	3	61,800	医療費	12,000	1	12,000	項目	単価	人数	予算額	給食費(1~6年)	44,000	108	4,752,000	修学旅行(6年)	20,600	23	473,800	学用品(1年)	11,100	16	177,600	学用品・通学用品(2~6年)	13,270	92	1,220,840	新入学用品(1年)	19,900	16	318,400	校外学習(宿有り)	3,470	42	145,740	校外学習(宿なし)	1,510	108	163,080	医療費	12,000	1	12,000	計			7,337,260	H24現計予算額			9,087	
					項目	単価	人数	予算額																																																					
					修学旅行(6年)	20,600	3	61,800																																																					
					医療費	12,000	1	12,000																																																					
					項目	単価	人数	予算額																																																					
					給食費(1~6年)	44,000	108	4,752,000																																																					
					修学旅行(6年)	20,600	23	473,800																																																					
					学用品(1年)	11,100	16	177,600																																																					
					学用品・通学用品(2~6年)	13,270	92	1,220,840																																																					
					新入学用品(1年)	19,900	16	318,400																																																					
					校外学習(宿有り)	3,470	42	145,740																																																					
					校外学習(宿なし)	1,510	108	163,080																																																					
					医療費	12,000	1	12,000																																																					
計			7,337,260																																																										
増減額			A-B		▲ 585																																																								
事業のコスト			平成23年度(実績)		平成24年度(見込)																																																								
決算額又は決算見込額(千円)			7,943		7,861																																																								
従事職員数【人工】			0.10		0.10																																																								
人件費(人工×8,000千円)			800		800																																																								
総事業費:人件費含む(千円)			8,743		8,661																																																								
活動指標名			支給児童数																																																										
活動指標の算式			-																																																										
活動指標の実績			144 単位 人		144 単位 人																																																								
単位当たりコスト(円)			60,715		60,146																																																								
事業の目標	経済的な理由によって就学困難と認められる児童の保護者に必要な援助を行うことにより、義務教育の円滑な実施に資する目標とする。				特定財源の状況																																																								
					特別支援教育就学奨励費補助金 407千円 要保護生徒援助費補助金 21千円																																																								
備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 4.子ども未来創造プロジェクト (11)子ども達の就園就学の経済的援助																																																												

平成 25 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	大宇陀小学校建設事業				
所管課	606	教育総務課	(教育委員会事務局)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	平成22年4月にまず、大宇陀・守道・田原小学校で再編を行い、3校の児童は大宇陀小学校校舎で学習し、残る野依小学校についても児童数が減少傾向にあることから、大宇陀地域の小学校を1校に再編することとなった。大宇陀小学校の現校舎は古いもので、築50年を経過しており、耐力度の係数も国の示す基準を下回りっていることから、新しい校舎を建設し、教育環境の整備を図る。				区分	No.	区分名
					款	9	教育費
					項	2	小学校費
					目	3	学校建設費
細目	1	大宇陀小学校建設費					
根拠条例等	小学校設置条例						
総合計画	基本計画 第4章 第3節 教育環境の整備・充実						
H25年度事業の概要	平成24年度内に第1期工事を完了し、平成25年度にかけて解体工事や改修・グラウンド整備等の第2期～第4期工事を進める。 確認申請手数料 委託料 工事請負費 使用料及び賃借料 その他事務費				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	この度の「新大宇陀小学校」の建設は、通学の便宜や地域性、建設費用などを踏まえ、現在と同じ敷地内に新築し、児童が安心安全に、勉学やスポーツに励むことができるよう教育環境の整備が図れた。今後は、地域の防災拠点としての活用も図る。				使用料		
					国費		
					県費	4,666	
					市債	279,000	
					その他		
					一般財源	10,091	
					H25予算額	A	293,757
					H24当初予算額	B	890,062
H24現計予算額	1,191,474						
増減額	A-B	▲ 596,305					
事業のコスト		平成23年度(実績)	平成24年度(見込)		特定財源の状況		
決算額又は決算見込額(千円)	201,700	1,191,474					
従事職員数【人工】	0.20	0.20					
人件費(人工×8,000千円)	1,600	1,600					
総事業費:人件費含む(千円)	203,300	1,193,074					
活動指標名	進捗率						
活動指標の算式	各年度末執行額/全体事業費						
活動指標の実績	14.5	単位 %	85.5	単位 %			
単位当たりコスト(円)	14,020,690	13,954,082					
事業の目標	2期～4期工事は、校舎等の解体工事・グラウンド整備・周辺整備等を行うことから、教育環境に支障の無いよう配慮すると共に、事故等無いよう安全対策を万全に備え施工する。					備考	
					<予算案のポイント> 【重点事業】 4.子ども未来創造プロジェクト (18)教育施設の整備、耐震化の推進		

平成 25 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	小学校耐震補強事業【榛原小学校・榛原東小学校体育館】				
所管課	606	教育総務課	(教育委員会事務局)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	学校施設は、児童が一日の大半を過ごす活動の場であり、非常災害時には地域住民の応急的な避難場所としての役割を果たすことから、施設の耐震化を進める。				区分	No.	区分名
					款	9	教育費
					項	2	小学校費
					目	4	耐震化事業費
細目	1	耐震化事業費					
根拠条例等	公立学校施設に係る大規模地震対策関係法令及び地震防災対策関係法令の運用細目						
総合計画	基本計画 第4章 第3節 教育環境の整備・充実						
H25年度事業の概要	①榛原小学校校舎(3棟)の耐震補強工事及び大規模改修工事 ②榛原東小学校体育館の耐震補強工事設計業務 耐震判定手数料・開発行為手数料・確認申請手数料 委託料・工事請負費				財源の内訳 (単位:千円)		
	事業の成果	平成23年度において、全ての学校施設の耐震2次診断を行った。これにより、市内の学校施設で耐震が必要な施設が明確となり、国が示す平成27年度に耐震化率100%に向け、宇陀市耐震推進計画を策定し計画的に耐震化を進める諸準備が整理された。				分担金	
使用料							
国費						31,190	
県費							
市債						213,300	
その他							
一般財源						7,168	
H25予算額	A	251,658					
H24当初予算額	B						
H24現計予算額							
増減額	A-B	251,658					
事業のコスト	平成23年度(実績)	平成24年度(見込)		特定財源の状況			
決算額又は決算見込額(千円)	 平成23年度(実績) 平成24年度(見込) 		公立学校施設整備費負担金		31,190千円		
従事職員数【人工】			合併特例債		213,300千円		
人件費(人工×8,000千円)							
総事業費:人件費含む(千円)							
活動指標名							
活動指標の算式							
活動指標の実績		単位		単位			
単位当たりコスト(円)							
事業の目標	IS値が極端に低いことから、耐震補強を行うことが困難であり現在の建物及びプールを解体、改築をおこなう。又、地域防災拠点となることから、防災設備も併せて整備する。				備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 4.子ども未来創造プロジェクト (18)教育施設の整備、耐震化の推進	

平成 25 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	中学校耐震補強事業【室生中学校体育館】				
所管課	606	教育総務課	(教育委員会事務局)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	学校施設は、生徒が一日の大半を過ごす活動の場であり、非常災害時には地域住民の応急的な避難場所としての役割を果たすことから、施設の耐震化を進めるとともに経年による損耗、機能低下の復旧措置を図る。				区分 No.	区分名	
					款	9	教育費
					項	3	中学校費
					目	4	耐震化事業費
細目	1	耐震化事業費					
根拠条例等	公立学校施設に係る大規模地震対策関係法令及び地震防災対策関係法令の運用細目						
総合計画	基本計画 第4章 第3節 教育環境の整備・充実						
H25年度事業の概要	室生中学校体育館の耐震判定手数料・耐震補強設計委託料				財源の内訳 (単位:千円)		
	事業の成果 平成23年度において、全ての学校施設の耐震2次診断を行った。これにより、市内の学校施設で耐震が必要な施設が明確となり、国が示す平成27年度に耐震化率100%に向け計画的に耐震化を進める。 体育館屋根部分の強度が不足していることから、屋根の補強及び周辺整備を行う。				分担金		
使用料							
国費							
県費							
市債					7,800		
その他							
一般財源					500		
H25予算額					A 8,300		
H24当初予算額	B						
H24現計予算額							
増減額	A-B 8,300						
事業のコスト	平成23年度(実績)	平成24年度(見込)	特定財源の状況				
決算額又は決算見込額(千円)	(この欄は斜線が入ります)		合併特例債 7,800千円				
従事職員数【人工】							
人件費(人工×8,000千円)							
総事業費:人件費含む(千円)							
活動指標名							
活動指標の算式							
活動指標の実績			単位	単位			
単位当たりコスト(円)							
事業の目標	平成23年度において、全ての学校施設の耐震2次診断を行った。これにより、市内の学校施設で耐震が必要な施設が明確となり、国が示す平成27年度の耐震化率100%に向け計画的に耐震化を進める。		備考 <予算案のポイント> 【重点事業】 4.子ども未来創造プロジェクト (18)教育施設の整備、耐震化の推進				

平成 25 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	幼稚園保育料援助事業					
所管課	606	教育総務課	(教育委員会事務局)		宇陀市一般会計予算			
事業の目的	宇陀市立幼稚園の一層の普及充実を図るため、保育料支払いの経済的負担が大きい保護者を対象として、保育料の減免を行う。				区分	No.	区分名	
					款	9	教育費	
					項	4	幼稚園費	
					目	1	幼稚園費	
細目	1	本庁幼稚園費						
根拠条例等	宇陀市立幼稚園保育料徴収条例第5条、同施行規則第4条							
総合計画	基本計画 第4章 第3節 教育環境の整備・充実							
H25年度事業の概要	全保護者に事業内容案内を配布し、保護者からの申請により、減免を行う。 扶助費 848				財源の内訳 (単位:千円)			
	72,000×6人	432,000	生活保護者等の全額免除者		分担金			
20,000×7人	140,000	第1子		使用料				
46,000×3人	138,000	2子以上就園の第2子		国費		139		
72,000×0人	0	2子以上就園の第3子		県費				
33,000×2人	66,000	兄弟が小学校低学年の第2子		市債				
72,000×1人	72,000	兄弟が小学校低学年の第3子		その他				
	※歳入の補助基準額 596,000÷3×0.7				一般財源		709	
事業の成果	平成24年度減免認定 11名 家庭の経済的負担軽減を図るため、第1子から減免を実施しており、平成22年度からは兄・姉が小学校低学年にいる第二子の保護者まで範囲を広げ、幼稚園利用保護者負担の経済的軽減を図っている。 小学校就学前の保育所入所者以外の幼児に、家庭の経済的な理由で幼稚園就園を断念することなく、幼稚園教育を受ける機会を設けた。				H25予算額	A	848	
					H24当初予算額	B	868	
					H24現計予算額		455	
					増減額	A-B	▲ 20	
事業のコスト			平成23年度(実績)	平成24年度(見込)	特定財源の状況			
決算額又は決算見込額(千円)			540	455	幼稚園就園奨励費補助金 139千円			
従事職員数【人工】			0.45	0.45				
人件費(人工×8,000千円)			3,600	3,600				
総事業費:人件費含む(千円)			4,140	4,055				
活動指標名			減免認定者数					
活動指標の算式			-					
活動指標の実績			14	単位	人	11	単位	人
単位当たりコスト(円)			295,714		368,636			
事業の目標	幼児教育の充実を目指す。				備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 4.子ども未来創造プロジェクト (11)子ども達の就園就学の経済的援助		

平成 25 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	子ども活動支援事業				
所管課	602	生涯学習課	(教育委員会事務局)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	青少年の規範意識や社会性の低下が社会現象となり、その要因として、親子のふれあいや信頼関係の希薄化、家庭や地域の教育機能の低下等があり、学校、家庭、地域が一体となり、地域ぐるみで子育てをする体制を構築することでこれらを解消し、子ども自身の力を伸ばし、青少年の健全育成と地域の連帯、ふれあいを深めることを目的とする。				区分 No.	区分名	
					款	9	教育費
					項	5	社会教育費
					目	3	青少年活動費
					細目	1	本庁青少年活動費
根拠条例等							
総合計画	基本計画 第4章 第4節 生涯学習の充実						
H25年度事業の概要	子ども活動支援事業 小・中学校区				財源の内訳 (単位:千円)		
	報償費	495	コーディネーター謝金	分担金			
	旅費	20	旅費	使用料			
	需用費	420	消耗品費	国費			
	役務費	40	郵送料	県費	706		
	84	傷害保険	市債				
	合計	1,059		その他			
事業の成果	子ども活動支援事業(H23年度) 4中学校区・8小学校区 学習支援活動・登下校安全指導・環境整備等				一般財源	353	
					H25予算額	A 1,059	
					H24 当初予算額	B 1,236	
					H24 現計予算額	1,236	
					増減額	A-B ▲ 177	
事業のコスト		平成23年度(実績)	平成24年度(見込)		特定財源の状況		
決算額又は決算見込額(千円)		956	1,236		学校支援地域本部事業補助金 706千円		
従事職員数【人工】		0.05	0.05				
人件費(人工×8,000千円)		400	400				
総事業費:人件費含む(千円)		1,356	1,636				
活動指標名		ボランティアの登録数					
活動指標の算式		-					
活動指標の実績		184	単位	人	160	単位	人
単位当たりコスト(円)		7,370		10,225			
事業の目標	未来を担う子どもたちを健やかに育むために、地域全体で教育に取り組む体制をつくり、地域全体の教育力の向上を目指す。				備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 4.子ども未来創造プロジェクト (16)学校教育における児童生徒の学習意欲の増進	

平成 25 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	子どもフェスタ実行委員会補助金事業																																																
所管課	602	生涯学習課	(教育委員会事務局)		宇陀市一般会計予算																																														
事業の目的	遊び体験を通じて仲間づくりや参加者の交流を深めるとともに、豊かな感性を育み、未来を担う宇陀市の子どもたちの健全育成に努める。				区分	No.	区分名																																												
					款	9	教育費																																												
					項	5	社会教育費																																												
					目	3	青少年活動費																																												
					細目	1	本庁青少年活動費																																												
根拠条例等																																																			
総合計画	基本計画 第4章 第4節 生涯学習の充実																																																		
H25年度事業の概要	実行委員会補助金 650千円				財源の内訳 (単位:千円)																																														
	<table border="1"> <tr> <td>出演者謝礼等</td> <td>30</td> <td>報償費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>材料費等</td> <td>455</td> <td>需用費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>郵送料等</td> <td>40</td> <td>役務費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>音響委託等</td> <td>60</td> <td>委託料</td> <td></td> </tr> <tr> <td>会場使用料</td> <td>65</td> <td>使用料</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>650</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				出演者謝礼等	30	報償費		材料費等	455	需用費		郵送料等	40	役務費		音響委託等	60	委託料		会場使用料	65	使用料		合計	650			<table border="1"> <tr> <td>分担金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td></td> </tr> <tr> <td>国費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>県費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市債</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>650</td> </tr> <tr> <td>H25予算額</td> <td>A 650</td> </tr> <tr> <td>H24当初予算額</td> <td>B 600</td> </tr> <tr> <td>H24現計予算額</td> <td>600</td> </tr> <tr> <td>増減額</td> <td>A-B 50</td> </tr> </table>		分担金		使用料		国費		県費		市債		その他		一般財源	650	H25予算額	A 650	H24当初予算額	B 600	H24現計予算額	600	増減額
出演者謝礼等	30	報償費																																																	
材料費等	455	需用費																																																	
郵送料等	40	役務費																																																	
音響委託等	60	委託料																																																	
会場使用料	65	使用料																																																	
合計	650																																																		
分担金																																																			
使用料																																																			
国費																																																			
県費																																																			
市債																																																			
その他																																																			
一般財源	650																																																		
H25予算額	A 650																																																		
H24当初予算額	B 600																																																		
H24現計予算額	600																																																		
増減額	A-B 50																																																		
事業の成果	子どもフェスタ2012(H24年度) 参加者 約1,500人 テーマ つながれ心! ひろがれ笑顔! 内容 紙ひこうき大会・チャレンジランキング・大声コンテスト タイムトンネル・音楽コンサート・人形劇・ジュースの釣堀等																																																		
事業のコスト		平成23年度(実績)	平成24年度(見込)		特定財源の状況																																														
決算額又は決算見込額(千円)		558	600																																																
従事職員数【人工】		0.30	0.30																																																
人件費(人工×8,000千円)		2,400	2,400																																																
総事業費:人件費含む(千円)		2,958	3,000																																																
活動指標名		参加者人数																																																	
活動指標の算式		-																																																	
活動指標の実績		1,400	単位	人			1,500	単位	人																																										
単位当たりコスト(円)		2,113	2,000																																																
事業の目標		子どもたちにより多くの遊び体験の場や交流の機会を提供し、規範意識や仲間意識を醸成するとともに、市内の子ども達が一堂に会する機会を設け宇陀市の一体感を醸成する。																																																	
備考		<予算案のポイント> 【重点事業】 4.子ども未来創造プロジェクト (15)“宇陀子どもフェスタ2013開催費(実行委員会補助金)																																																	

平成 25 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名						
		文化財ボランティア養成講座事業						
所管課	604	文化財課	(教育委員会事務局)					
		宇陀市一般会計予算						
事業の目的	市内には、数多くの国・県・市指定の有形文化財をはじめ、地域の暮らしの中で大切に受け継がれてきた貴重な無形文化財が存在する。 これらの貴重な文化財の保護と活用を図り、さらに文化財を後世に引き継いでいくため「文化財ボランティア」を養成する。 また、文化財ボランティアの活動を通じて宇陀市の歴史と文化を市民に再認識していただくとともに、文化財愛護思想の高揚と地域文化財の保護、顕彰に資することを目的とする。				区分	No.	区分名	
					款	9	教育費	
					項	5	社会教育費	
					目	4	文化財保護費	
細目	1	本庁文化財保護費						
根拠条例等	文化財ボランティア養成講座実施要綱							
総合計画	基本計画 第5章 第3節 歴史・文化資源の保全と活用							
H25年度事業の概要	本年度も、中級講座として開講し、過去に開設した講座の終了分野について、更に深めた講座を開設する。				財源の内訳 (単位:千円)			
					分担金			
事業の成果	平成22年度から継続して講座を開講おり、毎年平均10名から15名の受講生に参加して頂いて宇陀市の歴史、市内に点在する有形文化財や伝承されている無形文化財について学んでいただいている。 この事業の実施により、文化財保存の重要性と活用の必要性が理解いただけ、文化財に対する知識高揚の一助となっているものと考えている。				使用料			
					国費			
					県費			
					市債			
					その他			
					一般財源	10		
					H25予算額	A 10		
					H24当初予算額	B 12		
					H24現計予算額	12		
					増減額	A-B ▲ 2		
事業のコスト		平成23年度(実績)	平成24年度(見込)		特定財源の状況			
決算額又は決算見込額(千円)		10	10					
従事職員数【人工】		0.10	0.10					
人件費(人工×8,000千円)		800	800					
総事業費:人件費含む(千円)		810	810					
活動指標名		登録者数						
活動指標の算式		-						
活動指標の実績		15	単位	人		11	単位	人
単位当たりコスト(円)		54,000		73,636				
事業の目標	今後は、ボランティア養成講座を修了された方々を市に登録していただき、文化財の「指導ボランティア」や文化講演会等の「運営ボランティア」などとして活動してもらうことを目標とする。併せて文化財という貴重な財産について、受講者から市民へ情報発信をしていただくとともに、文化財について広く市民に周知していただく。					備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト [観光振興 宇陀市の歴史的文化的資産の活用] (4)観光施設、観光資源の整備	

平成 25 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	文化財保護事業(保存修理等助成事業)						
所管課	604	文化財課	(教育委員会事務局)		宇陀市一般会計予算				
事業の目的	市内の国・県指定の文化財を所有または管理するものに対して、文化財維持・保全活動に係る必要経費について国や県が補助するほかに、「宇陀市文化財保存事業費補助金交付要綱」の規定に基づき、事業費から補助金を差し引いた、所有者又は管理者が負担しなければならない額の3分の1を補助することにより、所有者または管理者の経費的負担を軽減し、もって文化財の正常な維持、保存に資することを目的とする。				区分	No.	区分名		
					款	9	教育費		
					項	5	社会教育費		
					目	4	文化財保護費		
細目	1	本庁文化財保護費							
根拠条例等	文化財保護法 宇陀市文化財保護条例 宇陀市文化財保存事業費補助金交付要綱								
総合計画	基本計画 第5章 第3節 歴史・文化資源の保全と活用								
H25年度事業の概要	平成25年度においては、国・県指定文化財を所有または管理する11団体が実施する14件の防火防犯設備の点検・整備、環境整備、施設修繕などに対して、国並びに県が経費を補助するほかに市としても当該経費に対して要綱に基づき追加補助する。これにより文化財所有者または管理者の経費的負担を軽減する。				財源の内訳 (単位:千円)				
					分担金				
事業の成果	市民及び文化財の所有者または管理者が、文化財が貴重な財産であることを自覚し、公共のために文化財を大切に保存し、維持しなければならないとの認識ができる事業である。また、文化財を維持管理する所有者または管理者の経費負担を軽減することにより、文化財を保存、維持しやすくなる。				使用料				
					国費				
					県費				
					市債				
					その他				
					一般財源	989			
					H25予算額	A 989			
					H24当初予算額	B 1,384			
H24現計予算額	1,384								
増減額	A-B ▲ 395								
事業のコスト	平成23年度(実績)	平成24年度(見込)	特定財源の状況						
決算額又は決算見込額(千円)	2,888	1,384							
従事職員数【人工】	0.40	0.40							
人件費(人工×8,000千円)	3,200	3,200							
総事業費:人件費含む(千円)	6,088	4,584							
活動指標名	補助件数								
活動指標の算式	-								
活動指標の実績	14 単位 件	15 単位 件							
単位当たりコスト(円)	434,857	305,600							
事業の目標	文化財保護法などにより規制がかけられた所有物または管理物の維持、保全等に要する経費について、国・県・市が要綱等の規定に基づき補助金を交付することにより所有者または管理者の負担を軽減する。					備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト [観光振興 宇陀市の歴史的文化的資産の活用] (3)歴史的・文化的資源の保存整備		

平成 25 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名																						
		天然記念物保存事業 向淵スズラン群落再生事業																						
所管課	604	文化財課	(教育委員会事務局)																					
事業の目的 室生向淵にあるスズランの自生群落は、自生の南限地として国の天然記念物に指定されている。 このスズラン群落の保存管理計画を策定し、併せて現状調査等を実施する。 また、当該保存管理計画に基づき管理目標を定めて観察と管理をおこなうとともに、一般来訪者に公開することを目的とする。																								
				宇陀市一般会計予算																				
				区分	No.	区分名																		
				款	9	教育費																		
				項	5	社会教育費																		
目	4	文化財保護費																						
細目	3	天然記念物保存事業費																						
根拠条例等	宇陀市文化財保護条例 第10条 宇陀市文化財補助金要綱																							
総合計画	基本計画 第5章 第3節 歴史・文化資源の保全と活用																							
H25年度事業の概要	平成25年度は、向淵スズラン群落再生事業指導委員会の指導のもとに、 文化庁文化財調査官の現地指導 増殖試験委託 群落の説明板設置 等の事業を予定している。																							
	財源の内訳 (単位:千円)																							
事業の成果	天然記念物に指定された当時(S5. 11)には約3万㎡の指定地に、密生した場所でも1㎡あたり平均45株しかなかった。この事業の実施に伴い平成9年には約500㎡の中に約5, 500株が生育するようになり、さらに平成21年調査では、217㎡の中に約29, 000株が生育。生育密度は「オクシバ」地区で約119株/㎡、「タヌキヤブ」地区で約136株/㎡と増加してきている。 このように個体数及び密度は増加傾向にあるものの、外来種である「ドイツスズラン」の混在も確認され、その都度除去して固有種の確保が可能となった。																							
	<table border="1"> <tr><td>分担金</td><td></td></tr> <tr><td>使用料</td><td></td></tr> <tr><td>国費</td><td>2,000</td></tr> <tr><td>県費</td><td>600</td></tr> <tr><td>市債</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>1,402</td></tr> <tr><td>H25予算額</td><td>A 4,002</td></tr> <tr><td>H24当初予算額</td><td>B 10,004</td></tr> <tr><td>H24現計予算額</td><td>10,004</td></tr> <tr><td>増減額</td><td>A-B ▲ 6,002</td></tr> </table>			分担金		使用料		国費	2,000	県費	600	市債		その他		一般財源	1,402	H25予算額	A 4,002	H24当初予算額	B 10,004	H24現計予算額	10,004	増減額
分担金																								
使用料																								
国費	2,000																							
県費	600																							
市債																								
その他																								
一般財源	1,402																							
H25予算額	A 4,002																							
H24当初予算額	B 10,004																							
H24現計予算額	10,004																							
増減額	A-B ▲ 6,002																							
事業のコスト		平成23年度(実績)	平成24年度(見込)																					
決算額又は決算見込額(千円)		3,009	3,307																					
従事職員数【人工】		0.05	0.05																					
人件費(人工×8,000千円)		400	400																					
総事業費:人件費含む(千円)		3,409	3,707																					
活動指標名		株数密度増減割合																						
活動指標の算式		前年生育密度/現年生育密度																						
活動指標の実績		1.07	1.15																					
単位当たりコスト(円)		3,185,981	3,223,478																					
事業の目標 国指定の天然記念物向淵スズラン群落を管理することにより、指定理由である自生の南限としての価値を維持すると共に、一般に広く公開することにより市の活性化に資することを目標とする。		特定財源の状況 天然記念物調査再生事業費補助金 国費 2,000千円 県費600千円																						
		備考 <予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト 【観光振興 宇陀市の歴史的文化的資産の活用】 (4)観光施設、観光資源の整備																						

平成 25 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	重要伝統的建造物群保存地区保存事業				
所管課	604	文化財課	(教育委員会事務局)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	宇陀市松山重伝建地区の歴史的町並みの特性を回復、維持するため、重伝建審議会においてその方策を検討し、伝建地区内の重要な構成要素である伝統的建造物(伝建物)の「修理」、及びそれ以外の建造物(非伝建物)の「修景」に対して補助金の交付をおこなって、修理と修景を共に推進することにより、町並みの価値を維持し、高めることを目的とし、併せて地区内に暮らす人の命と文化財的価値を守るため防災施設等の整備を行い、これらをもって市民が誇りと愛着をもったまちづくりの実行に資することを目的とする。				区分	No.	区分名
					款	9	教育費
					項	5	社会教育費
					目	4	文化財保護費
細目	21	まちなみ保存整備事業費					
根拠条例等	文化財保護法 宇陀市松山地区伝統的建造物群保存地区保存条例						
総合計画	基本計画 第5章 第3節 歴史・文化資源の保全と活用						
H25年度事業の概要	平成25年度においては、 松山地区重要伝統的建造物群保存審議会の開催 2回 地区紹介パンフレット『宇陀松山』の増刷 25,000部 文化庁文化財調査官による現地指導 1回 「修理」に対する補助 6件 「修景」に対する補助 1件 等の事業を予定している。				財源の内訳 (単位:千円)		
	事業の成果 修理・修景補助については、申請のあった物件について選定委員会を開催し、緊急度や効果の高いものについて順位をつけて採択をし、予算の範囲内で年間4~6件の工事に補助をおこなっている。 建物が再生される過程を見た施主や周囲の住民からの評判も良く、申請件数も年々増加して待機状態が続いている状況にある。 また上欄の事業概要のほかにも、折に触れて先進地研修やまちづくり講座等を開催して住民への啓発活動を行っているため、本事業に対する住民の理解は年ごとに高まっている。				分担金		
				使用料			
				国費	16,843		
				県費	3,368		
				市債			
				その他			
				一般財源	13,885		
				H25予算額	A 34,096		
				H24当初予算額	B 34,118		
				H24現計予算額	34,118		
				増減額	A-B ▲ 22		
事業のコスト		平成23年度(実績)	平成24年度(見込)		特定財源の状況 重要伝統的建造物群保存地区保存事業費補助金 国費 16,843千円 県費 3,368千円		
決算額又は決算見込額(千円)		25,850	34,118				
従事職員数【人工】		1.20	0.50				
人件費(人工×8,000千円)		9,600	4,000				
総事業費:人件費含む(千円)		35,450	38,118				
活動指標名		補助件数					
活動指標の算式		-					
活動指標の実績		15	単位	件		5	単位
単位当たりコスト(円)		2,363,333		7,623,600			
事業の目標	宇陀松山重要伝統的建造物群保存地区(重伝建地区)は、奈良県下の3ヶ所のうちのひとつであり、昭和戦前に建築された建築物が数多く残り、「商家町」としての貴重な歴史的景観を形成している。 この歴史的景観を後世に引き継ぐとともに、宇陀松山城跡と伝建地区を一体的に捉えて整備することにより、当該地域のみならず宇陀市の活性化に資することを目的とする。				備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト [観光振興 宇陀市の歴史的文化的資産の活用] (3)歴史的・文化的資源の保存整備	

平成 25 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名				
		史跡宇陀松山城跡の登山道整備事業				
所管課	604	文化財課	(教育委員会事務局)			
宇陀市一般会計予算						
事業の目的	平成18年7月に国の史跡指定を受けた「宇陀松山城跡」は、中世の秋山氏の築城に始まり、豊臣政権下では大和郡山城、高取城と並んで大和支配の拠点とされてきた。 城跡は近世初頭の城割りと呼ばれる廃城とその時期や内容が一体として把握できる非常に希な事例である。 この城跡を保存すると共に、宇陀市に存する貴重な歴史遺産として来訪者に公開するため城跡へのアクセス道路を新設し、もって当該地域はもとより宇陀市の活性化の一助とすることを目的とする。					
	区分	No.	区分名			
	款	9	教育費			
	項	5	社会教育費			
目	4	文化財保護費				
細目	23	史跡宇陀松山城跡整備事業				
根拠条例等	文化財保護法					
総合計画	基本計画 第5章 第3節 歴史・文化資源の保全と活用					
H25年度事業の概要	平成25年度の事業概要は、「(仮)松山城線」の新設について 測量設計業務委託 道路新設工事 用地買収 にかかる経費を計上した。					
	事業の成果	当該事業の実施により、ある程度まで車でアクセスが可能になるため、高齢者や子どもでも城跡へ登ることが容易となる。 典型的な山城跡を見学することを容易にすることで、当該地域及び宇陀市の活性化の一助とすることが期待できる。				
財源の内訳 (単位:千円)						
分担金						
使用料						
国費						
県費						
市債	38,000					
その他						
一般財源	2,000					
H25予算額	A	40,000				
H24当初予算額	B					
H24現計予算額						
増減額	A-B	40,000				
事業のコスト	平成23年度(実績)	平成24年度(見込)		特定財源の状況		
決算額又は決算見込額(千円)	/					
従事職員数【人工】						
人件費(人工×8,000千円)						
総事業費:人件費含む(千円)						
活動指標名						
活動指標の算式						
活動指標の実績					単位	単位
単位当たりコスト(円)						
事業の目標					宇陀市内には中世に宇陀三将と呼ばれる澤氏、芳野氏、秋山氏の居城跡があるが、詳細な調査が実施され史跡指定されているのは当該松山城跡だけである。 これを宇陀市のシンボルの一つとして活用することにより、宇陀市の活性化に資することを目標とする。	
備考				<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト [観光振興 宇陀市の歴史的文化的資産の活用] (1)にぎわいづくり創造事業		

平成 25 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名			
		史跡宇陀松山城跡保存整備事業			
所管課	604	文化財課	(教育委員会事務局)		
事業の目的		平成18年7月に国の史跡指定を受けた「宇陀松山城跡」は、中世の秋山氏の築城に始まり、豊臣政権下では大和郡山城、高取城と並んで大和支配の拠点とされてきた。 城跡は近世初頭の城割りと呼ばれる廃城とその時期や内容が一体として把握できる非常に希な事例である。 この城跡を保存すると共に、宇陀市に存する貴重な歴史遺産として来訪者に公開するため城跡へのアクセス道路を新設し、もって当該地域はもとより宇陀市の活性化の一助とすることを目的とする。			
根拠条例等	文化財保護法				
総合計画	基本計画 第5章 第3節 歴史・文化資源の保全と活用				
H25年度事業の概要	平成25年度にあつては、 (1)天守郭・天守郭周辺部の保存整備工事 (2)南西虎口部(雀門周辺)の保存整備実施設計 の実施を計画している。				財源の内訳 (単位:千円) 分担金 使用料 国費 4,000 県費 2,400 市債 1,900 その他 一般財源 1,534 H25予算額 A 9,834 H24当初予算額 B 13,320 H24現計予算額 13,320 増減額 A-B ▲ 3,486
	平成18年7月に国史跡指定を受た面積は67,667㎡と広大であり、そのうち総石垣づくりの約22,450㎡の公有化を実施している。 整備範囲は公有化を行った範囲を中心に、城跡への登城道部分を対象としている。 遺構内容・城割りの状況と範囲・石垣等の崩落箇所等の関係等を十分に検討しながら保存整備を進めることで貴重な歴史資料とすることができる。				
事業の成果					
事業のコスト		平成23年度(実績)	平成24年度(見込)		特定財源の状況 史跡宇陀松山城跡保存整備事業費補助金 国費 4,000千円 県費 2,400千円 (うち15%奈良モデル補助金) 合併特例債 1,900千円
決算額又は決算見込額(千円)		15,855	8,032		
従事職員数【人工】		1.20	1.20		
人件費(人工×8,000千円)		9,600	9,600		
総事業費:人件費含む(千円)		25,455	17,632		
活動指標名		進捗率			
活動指標の算式		出来高工事費/全体事業費			
活動指標の実績		14.24	単位 %	18.58	単位 %
単位当たりコスト(円)		1,787,600		948,801	
事業の目標	宇陀市内には中世に宇陀三将と呼ばれる澤氏、芳野氏、秋山氏の居城跡があるが、詳細な調査が実施され史跡指定されているのは当該松山城跡だけである。 これを宇陀市のシンボルの一つとして活用することにより、宇陀市の活性化に資することを目標とする。				備考 <予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト [観光振興 宇陀市の歴史的文化的資産の活用] (3)歴史的・文化的資源の保存整備

平成 25 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	国重文・片岡家文書調査事業					
所管課	604	文化財課	(教育委員会事務局)		宇陀市一般会計予算			
事業の目的	国指定重要文化財の片岡家住宅に伝わる文書(史料)類は、「大宇陀町史」編纂時にその一部が調査され、室町時代・江戸時代以降の当該地域の歴史を考える上において重要性な史料であることが判明している。 片岡家に所蔵される文書は約1万点を数え、これら文書の詳細な調査を実施し、整理したうえで次代へ引き継げるようにするためこの事業を実施するものである。 調査後の価値判断によっては国または県指定文化財の指定を検討する。				区分	No.	区分名	
					款	9	教育費	
					項	5	社会教育費	
					目	4	文化財保護費	
細目	25	片岡家文書調査事業費						
根拠条例等	宇陀市文化財保護条例 第10条		宇陀市文化財保存事業費補助金要綱					
総合計画	基本計画 第5章 第3節 歴史・文化資源の保全と活用							
H25年度事業の概要	平成25年度は、片岡家に伝わる1万点の文書(史料)を詳細調査し、すべての文書を写真撮影するなどの整理を継続するものである。 また当該文書調査の詳細については、文化庁、奈良県教育委員会事務局、片岡家文書調査指導委員会の指導を得て実施する。				財源の内訳 (単位:千円)			
					分担金			
事業の成果	片岡家文書の調査により、中世から近世における宇陀地域の支配者の支配状況の確認が可能となることが期待される。 また、近代における地方自治の状況も明らかになるのではないかと期待されることである。				使用料			
					国費	1,500		
					県費	90		
					市債			
					その他			
					一般財源	1,412		
					H25予算額	A	3,002	
					H24当初予算額	B	3,002	
H24現計予算額	3,002							
増減額	A-B							
事業のコスト	平成23年度(実績)	平成24年度(見込)		特定財源の状況				
決算額又は決算見込額(千円)	/		3,002		国宝重要文化財保存整備費補助金 1,500千円			
従事職員数【人工】			0.05		文化財保存事業補助金 90千円			
人件費(人工×8,000千円)			400					
総事業費:人件費含む(千円)			3,402					
活動指標名	進捗率							
活動指標の算式	整理済文書数/全体文書数(概数)							
活動指標の実績			27	単位	%			
単位当たりコスト(円)			126,000					
事業の目標	片岡家は中世、室町時代から連綿と続く旧家であり、そこに受け継がれてきた各種文書を調査することは、宇陀地域の詳細な歴史を確認することに他ならない。 調査結果は、「片岡家文書調査報告書」として取りまとめて出版することにより宇陀市の一級資料とすると共に、定期的に一般公開をおこなうことにより市の活性化に資することを目標とする。				<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト [観光振興 宇陀市の歴史的文化的資産の活用] (3)歴史的・文化的資源の保存整備			
備考								

平成 25 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名		街なみ環境整備事業			
所管課	604	文化財課	(教育委員会事務局)				
事業の目的 街なみ環境整備事業については、宇陀松山地区重要伝統的建造物群保存地区を包含する松山地区街なみ環境整備事業実施区域において、質の高い文化財としての街なみ景観を保存するとともに、そこに暮らす人々が住みやすいように住環境を整備するという事業目的を持っている。				宇陀市一般会計予算			
				区分	No.	区分名	
				款	9	教育費	
				項	5	社会教育費	
				目	6	街なみ環境整備事業費	
細目	20	街なみ環境整備事業費					
根拠条例等	国土交通省 街なみ環境整備事業制度要綱						
総合計画	基本計画 第5章 第3節 歴史・文化資源の保全と活用						
H25年度事業の概要	平成25年度は、 伊勢道の道路美化化・街路灯の整備 松山通り道路美化化の設計 などの事業実施を予定している。			財源の内訳 (単位:千円)			
	事業の成果 松山街なみ環境整備事業実施区域にあつては、古くから受け継がれてきた民家が密集し、事業実施区域のおよそ半分が国の宇陀松山地区重要伝統的建造物群保存地区に指定されている。この事業地区において、平成13年度から事業を実施し、道路の美化化をはじめ、まちづくりセンター「千軒舎」、まちなみギャラリー「石景庵」などの生活環境施設の整備をおこなっており、当該地区の都市景観は、「歴史的町並み」と呼ぶに相応しいものとなりつつある。			分担金			
				使用料			
				国費	17,000		
				県費			
				市債	16,700		
				その他			
				一般財源	1,240		
				H25予算額	A 34,940		
				H24当初予算額	B 33,995		
				H24現計予算額	33,995		
				増減額	A-B 945		
事業のコスト		平成23年度(実績)	平成24年度(見込)				
決算額又は決算見込額(千円)		17,056	33,995				
従事職員数【人工】		1.00	0.60				
人件費(人工×8,000千円)		8,000	4,800				
総事業費:人件費含む(千円)		25,056	38,795				
活動指標名		進捗率					
活動指標の算式		当年度事業費/全体事業費					
活動指標の実績		1.7	単位	%	3.9 単位 %		
単位当たりコスト(円)		14,738,824	9,947,436				
事業の目標		街なみ環境整備地区である宇陀松山地区は城下町に端を発する商家町である。街なみ環境整備事業のみならず、重要伝統的建造物群保存地区や宇陀松山城跡等を一体的事業と位置づけて事業展開を進めることにより、空き家の増加により低下している「まち」の活力を取り戻すことを目標とする。			備考 <予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト [観光振興 宇陀市の歴史的文化的資産の活用] (3)歴史的・文化的資源の保存整備		

事業区分	新規	事業名	大宇陀福祉会館現況詳細図面作成事業				
所管課	604	文化財課	(教育委員会事務局)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	街なみ環境整備事業については、宇陀松山地区重要伝統的建造物群保存地区を包含する松山地区街なみ環境整備事業実施区域において、質の高い文化財としての街なみ景観を保存するとともに、そこに暮らす人々が住みやすいように住環境を整備するという事業目的を持っている。 本事業は街なみ環境整備事業において整備する「生活環境施設」について、市の整備方針や活用方針を確定させる目的を持つ。				区分 No.	区分名	
					款	9	教育費
					項	5	社会教育費
					目	6	街なみ環境整備事業費
細目	20	街なみ環境整備事業費					
根拠条例等	国土交通省 街なみ環境整備事業制度要綱						
総合計画	基本計画 第5章 第3節 歴史・文化資源の保全と活用						
H25年度事業の概要	大宇陀福祉会館については、旧松山町役場や実業学校として使用された、地区内では親しみのある歴史的木造建築物である。 この建築物にあつては、街なみ環境整備事業により生活環境施設として整備方針が決定しているものの、当該建築物の詳細図面がないため、生活環境施設としての整備に先立ち、現況詳細図面を作成する。 併せて、当該施設を含めた活用方針の検討、作成に着手する。				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	当該事業を実施することにより、街なみ環境整備事業で生活環境施設として整備する大宇陀福祉会館を含めた活用方向が示され、街なみ環境整備事業のより円滑な実施が期待できる。				使用料		
					国費		
					県費		
					市債		
					その他		
					一般財源	800	
					H25予算額	A	800
H24当初予算額	B						
H24現計予算額							
増減額	A-B	800					
事業のコスト	平成23年度(実績)	平成24年度(見込)	特定財源の状況				
決算額又は決算見込額(千円)	/						
従事職員数【人工】							
人件費(人工×8,000千円)							
総事業費:人件費含む(千円)							
活動指標名							
活動指標の算式							
活動指標の実績						単位	単位
単位当たりコスト(円)							
事業の目標	街なみ環境整備地区である宇陀松山地区は城下町に端を発する商家町である。 街なみ環境整備事業のみならず、重要伝統的建造物群保存地区や宇陀松山城跡等を一体的事業と位置づけて事業展開を進めることにより、空き家の増加により低下している「まち」の活力を取り戻すことを目標とする。				備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト [観光振興 宇陀市の歴史的文化的資産の活用] (3)歴史的・文化的資源の保存整備	

平成 25 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	ラジオ体操事業																			
所管課	602	生涯学習課	(教育委員会事務局)		宇陀市一般会計予算																	
事業の目的	「いつでも」・「どこでも」・「だれも」ができるラジオ体操を通じて、市民が生きがいを感じ、安心して豊かな生活を送れるまち、ウェルネスシティ宇陀市の実現を目指す。				区分	No.	区分名															
					款	9	教育費															
					項	6	保健体育費															
					目	1	保健体育総務費															
細目	1	本庁保健体育総務費																				
根拠条例等																						
総合計画	基本計画 第4章 第5節 スポーツ・レクリエーションの充実																					
H25年度事業の概要	<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">需用費</td> <td>100</td> <td>消耗品代</td> </tr> <tr> <td>80</td> <td>広報チラシ印刷代</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">役務費</td> <td>10</td> <td>救急薬品代</td> </tr> <tr> <td>20</td> <td>広報折込手数料</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>30</td> <td>傷害保険料</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>240</td> <td></td> </tr> </table>				需用費	100	消耗品代	80	広報チラシ印刷代	役務費	10	救急薬品代	20	広報折込手数料	合計	30	傷害保険料	合計	240		財源の内訳 (単位:千円)	
						需用費	100	消耗品代														
					80		広報チラシ印刷代															
					役務費	10	救急薬品代															
20	広報折込手数料																					
合計	30	傷害保険料																				
合計	240																					
事業の成果	誰もが、いつでも、どこでも手軽にできるラジオ体操を地域や職場に普及させることによって、健康で住みよい町を実現する。				分担金																	
					使用料																	
					国費																	
					県費																	
					市債																	
					その他																	
					一般財源	240																
H25予算額	A	240																				
H24当初予算額	B																					
H24現計予算額																						
増減額		240																				
事業のコスト	平成23年度(実績)	平成24年度(見込)		特定財源の状況																		
決算額又は決算見込額(千円)	/																					
従事職員数【人工】																						
人件費(人工×8,000千円)																						
総事業費:人件費含む(千円)																						
活動指標名																						
活動指標の算式																						
活動指標の実績							単位	単位														
単位当たりコスト(円)																						
事業の目標	ラジオ体操文化が廃れる中、夏季期間、市内各地域で「(仮称)ラジオ体操デイ」を設定。小中学校はもちろんのこと、職場や家庭、公園や広場、田畑で、誰もが、いつでも・どこでもラジオ体操を楽しんでいる元気な街「ウェルネスシティ宇陀市」を目指す。			備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 2.健康なまちづくり創造プロジェクト (6)「ラジオ体操」の推進																	

平成 25 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	給食食材放射能検査事業				
所管課	621	学校給食センター (教育委員会事務局)	宇陀市一般会計予算				
事業の目的	学校給食は、身体の発育期にある児童生徒にバランスのとれた栄養のある食事を提供し、このことにより児童生徒の健康の増進、体位の向上を図るものである。更なる安心・安全を図るため給食用食材の放射能検査を実施するものである。		区分	No.	区分名		
			款	9	教育費		
			項	7	学校給食費		
			目	1	学校給食費		
			細目	1	学校給食費		
根拠条例等	「宇陀市立学校給食センター条例」						
総合計画	基本計画 第4章 第3節 教育環境の整備・充実						
H25年度事業の概要	○給食食材放射能検査料 115千円		財源の内訳 (単位:千円)				
			分担金				
事業の成果	学校給食センターが提供する給食の更なる安全性の確保を図るため食材について検査を実施、公表することで、食育の推進をより図ることができる。		使用料				
			国費				
			県費	105			
			市債				
			その他				
			一般財源	10			
			H25予算額	A	115		
			H24当初予算額	B			
H24現計予算額							
増減額	A-B	115					
事業のコスト		平成23年度(実績)	平成24年度(見込)		特定財源の状況		
決算額又は決算見込額(千円)		\diagdown		県安心こども基金 105千円			
従事職員数【人工】							
人件費(人工×8,000千円)							
総事業費:人件費含む(千円)							
活動指標名							
活動指標の算式							
活動指標の実績				単位		単位	
単位当たりコスト (円)							
事業の目標	安心で安全な給食作り、教育の一環(給食指導)の食育の推進を図る。			備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 4.子ども未来創造プロジェクト (17)給食食材放射能検査事業		